

# 代表質問

6月定例会では、浜崎晋一議員（鳥取県議会自由民主党）が県行財政上の諸問題について、会派を代表して質問を行いました。

## 鳥取県議会自由民主党



浜崎 晋一 議員  
選挙区 鳥取市

### 人口減への対応

**問** 鳥取県の人口が2040年に44万人余になるとの推計を国が発表した。今後、人口減に伴い、人的・物的資源が乏しくなる中で、これらの資源を補完し、上手に組み合わせることが求められる。このような背景から、私は人口減、協働・連携をテーマに県政の諸課題について、代表質問を行いたい。まず、人口減の現状をどう認識し、どのような施策を講じるのか伺う。

**答** 鳥取県は、全国より早いペースで人口減・高齢化という状況が生まれていると認識している。現実的な地域社会の創造」と「少子化の歯止め等、攻めの対策」、この2つのベクトルで施策を進めていきたい。

### 地域振興

**問** ①県内4市の中心地区は県平均よりも人口減・高齢化が進んでいる。市と一緒に進んでいくなか過疎対策にどう取り組んでいくのか。②全国でマラソン大会が地域活性化のツールとして、注目されている。地域資源とスポーツの融合、さらには教育・人材育成という観点で鳥取マラソンを見直し、多くの参画者による地域の観光資源、食、文化等を生かした大会に発展させてはどうか。

**答** ①現在、4市と協議を始めているが、まちなかの具体的な生の声に伝えながら施策を展開していきたい。②マラソンでの地域おこしに本格的に取り組んでいきたい。鳥取マラソンの拡充について、関係者と早急に協議を行う。

### 子育て・障がい者施策

**問** ①保育の質の向上のため、保育士の抜本的な処遇改善を国に求めることも県独自の対策を講じるべきと考えるが、いかがか。②県は障がい者施策全般をどうしていく考えなのか伺う。

**答** ①優秀な人材の確保も含め、国に保育士の処遇改善を求めている。また、県独自で届出保育所への助成、保育士の加配等に取り組み、今後も子育て環境のさらなる発展を目指していきたい。②鳥取県は工賃3倍計画を掲げて取り組み、現在、全国9位の工賃水準となった。このように様々な障がい者に対して、総合的にアプローチしていく必要がある。障がい者芸術・文化祭というモーメントを来年度は活用していきたい。

### 学力向上・体罰の根絶

**問** ①学力テストで小6の算数、理科が全国平均を下回り、高校入試の得点状況を見ると、学力の二極化傾向が現れている。今後、学力向上にどう取り組むのか。②体罰調査の結果、昨年度47件の体罰が確認された。体罰の根絶に向けた教育長の決意を伺う。

**答** ①高校では模擬試験等のデータに基づき、高校生の課題や弱点を分析し、小中学校では少人数学級のメリットを生かし、それぞれ授業改革に取り組んでいる。子どもたちが生きていく社会で求められる力を見据えながら、全体的な学力向上につなげていきたい。②現場の教職員が丸となって体罰によらない指導を行っていく必要がある。調査結果を生かして、子どもたちが体罰に苦しむことなく、安心して学校生活を送れるよう、取り組んでいきたい。

# 一般質問

6月定例会では、27人の議員が質問を行いました。本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。なお、議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。

### 県の成長戦略 対岸諸国交流

鉄永 幸紀 議員  
選挙区 鳥取市 会派 自由民主党



**問** ①国の成長戦略と鳥取県経済再生成長戦略②鳥取県東南アジアビュローのミッション③鳥取県のパートナー「モンゴル中央県」の人材育成と活用を。

**答** ①鳥取県の成長戦略はアベノミクスと相似型②鳥取県東南アジアビュローは農産物輸出・観光客誘致・鳥取県内企業のマザー工場化支援等東南アジアの経済成長を取りに行く③日本政府の奨学金留学生制度を研究し活用したい。その上で、モンゴル中央県と協議する。

### JR因美線の高速化

前田 八重彦 議員  
選挙区 鳥取市 会派 自由民主党



**問** 石破茂幹事長は、因美線の電化を提唱されている。山陰新幹線構想と連動しているか。また高速化の実現の方策はどうか。

**答** 山陰の鉄道高速化をぜひ実現して頂くよう国に働きかけている。そのことと関連して因美線の電化等の局面もありうると思う。ミニ新幹線にしようとか、フリーゲイジトレインにしようとした場合に因美線経由、智頭線経由は、有力な手段として考えられる。国に働きかけ、JRとの連携会議のなかで検討の端緒をつかむ。

### 中部の道路整備と観光振興

横山 隆義 議員  
選挙区 東伯郡 会派 自由民主党



**問** 鳥取自動車道、米子自動車道、北条湯原道路という「三本の矢」の整備は本県の交流促進、観光振興、物流円滑化、防災救急医療など活力ある地域づくりに役立つ。代替道路の確保の観点からも早急に整備すべきではないか。

**答** 羽合インターの出口、313号と北条湯原道路との交差に立体交差を活用した交通安全施設をつくることになった。北条湯原道路は、